

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名> 感染性脳炎に続発する自己免疫介在性脳炎の臨床像と病態生理に関する研究</p>
<p><研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 脳神経内科 (研究責任者) 中嶋秀人</p>
<p><研究期間> 承認日 ～ 西暦 2021年 9月 30日</p>
<p><研究の目的と意義> 単純ヘルペスウイルスなどによる感染性脳炎の経過中に中枢神経への自己免疫応答が引き起こされることにより、二次性に自己免疫性脳炎を発症する方がいることが分かってきました。しかし、現在までに報告が少ないためその症状や病態についての詳細は明らかになっていません。そのため、本研究では脳神経内科で感染性脳炎のため治療した患者さんの診療記録や検査データを解析し、感染性脳炎に続発する自己免疫性脳炎の詳細な臨床像と病態について明らかにすることを目的としています。本研究の結果により、自己免疫が関与する脳炎の早期判別が可能になり、自己免疫が関与する脳炎の早期診断、早期の免疫療法導入による予後の向上につながると考えられます。</p>
<p><利用する試料・情報の項目> 診療記録、および検査データ(画像検査, 血液・髄液検査, 脳波や筋電図など神経生理学的検査)</p>
<p><対象となる患者さん> 西暦 2009年 8月 1日～西暦 2019年 7月 31日の期間に脳神経内科で感染性(ウイルス性, 細菌性, 真菌性, 結核性)脳炎の治療をされた 16歳以上の方</p>
<p><研究の方法> 本研究は西暦 2009年 8月 1日から西暦 2019年 7月 31日の期間に、日本大学医学部附属板橋病院 脳神経内科で感染性脳炎(ウイルス, 細菌, 真菌, 結核などによる)と臨床診断され、治療した 16歳以上の患者さんを対象とした研究です。対象となる患者さんの診療記録(カルテ)と各種検査結果を調査し、経過中に中枢神経系の自己免疫応答の関与が判明した場合を二次性自己免疫性脳炎の発症群として、臨床像(特徴的な症候を認める頻度)や検査所見(異常所見が陽性となる頻度)について、二次性自己免疫性脳炎を発症しなかった群と比較検討します。</p>
<p>自己免疫介在性脳炎・脳症に関する特定疾病情報センター のホームページ https://www.shouman.jp/disease/html/detail/11_33_074.html</p>
<p><お問い合わせ窓口> 日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1) 脳神経内科 氏名: 中嶋 秀人 電話: 03-3972-8111 内線: (医局) 2600 (PHS) 8357</p>